

事務事業名		塩谷町消防団第4分団車両更新事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	01 安全安心な暮らしを支えるまちづくり				所属課	総務課	担当	地域安全担当
	施策名	06 消防・防災体制の強化				課長名	田代 好弘	担当者名	斎藤 文人
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	消防組織法、
		1	08	01	03	001	消防施設費		
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~ 年度)							
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 本町消防団第4分団については、消防・防災業務に必要不可欠として消防自動車(BD-1型)を平成2年に導入し、維持管理をしているが、更新計画においては、20年を耐用年数として更新を図ることとなっており、更新時期を超過している状況にある。 約30年に渡り使用してきた車両は、ミッションやポンプの経年劣化が進んでおり、いつ故障してもおかしくない状況にある。については、近年自動車ポンプ車両として導入をしているCD-1型を購入する。</p> <p>2 概算事業費 新型車両導入費として19,000千円</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画 (活動の量・大きさ・規模等)	消防車両 (準中型5トン未満) の購入。	名称	単位
		ア 消防車両の購入	台
② 対象 (事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	第4分団の管轄地区は、玉生宿、河原、梶橋、喜多、西山、東房となっており、居住する住民及び町民全体が対象。	名称	単位
		ア 第4分団管轄内人口	人
③ 目標 (この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	車両の更新によって、消防署との連携も可能となり、資機材等も充実することから、消防・防災力の向上により、地域住民の安心安全に繋がると考えられる。	名称	単位
		ア 更新をすることにより、住民の安心安全を得ることができた割合	%

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値		1				0
	イ	実績値						0
対象指標	ア	目標値		1,500	1,490	1,480	1,470	1,490
	イ	実績値	1,510	11,210	11,000	10,800	10,600	11,000
成果指標	ア	目標値		100	100	100	100	100
	イ	実績値	11,459					0

計画		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円					0
	県支出金	千円					0
	地方債	千円		19,000			0
	その他	千円					0
	一般財源	千円					0
	事業費計 (A)	千円	0	19,000	0	0	0

実績		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度
投入量	国庫支出金	千円					0
	県支出金	千円					0
	地方債	千円					0
	その他	千円					0
	一般財源	千円					0
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	消防団の維持管理については、町が行うこととなっており、町が購入し更新を図ることについては妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	平成2年の導入から約30年の年数が経過しており、更新計画においても更新時期となっている。ミッションやポンプについても経年劣化も進んでいることから、早急な更新が必要となる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	入札により事業を実施するため、コストの削減になる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	車両の更新により、消防・防災力の強化及び機能性の向上を図ることができ、第4分団管轄の住民はもとより、町民全体の安全安心につながるものであるため、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 30 年 9 月 28 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
<input type="checkbox"/> 再評価対象事業	